

指定管理業務総括評価票（令和6年度）

	施設名	総合評価	決算収支額(円)	備考
1	勝幡児童館	C	121,444	
2	草平児童館	C	243,930	
3	佐屋西児童館	C	5,629,704	
4	市江児童館	C	484,671	
5	永和児童館	C	132,102	
6	西川端児童館	C	390,366	
7	北河田児童館	C	0	
8	立田北部子育て支援センター	C	3,175,703	
9	立田南部子育て支援センター	C	2,506,291	
10	開治子育て支援センター	C	0	
11	八輪子育て支援センター	C	4,044,366	
12	総合斎苑	C	96,842	
13	佐屋老人福祉センター	C	-665,760	
14	佐織総合福祉センター	C	20,223	
15	スポーツ施設（9施設）	C	-6,735,848	
16	中央図書館・佐織図書館	C	-5,969	
17	文化会館	C	-142,906	利益の一部を市へ納付
18	永和地区防災コミ	C	11,332	収支差額分は、市へ返還
19	西保地区防災コミ	C	249	
20	勝幡地域防災コミ	C	204,014	収支差額分は、市へ返還
21	町方地域防災コミ	C	372,100	収支差額分は、市へ返還
22	川渕地域防災コミ	C	172,297	収支差額分は、市へ返還
23	草平地域防災コミ	C	16,666	収支差額分は、市へ返還
24	藤浪地域防災コミ	C	4,027	収支差額分は、市へ返還
25	市江地区コミ	C	5,181	収支差額分は、市へ返還
26	立田地域交流拠点施設	C	4,220,464	利益の一部を市へ納付
27	永和地区公民館	C	15,858	

（※）立田ふれあいの里運営協議会収支計算書参照

書式3（総括評価票）

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	勝幡児童館	指定管理者名	社会福祉法人さくら会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	概ね、事業計画に沿って運営ができた。人員体制は夏休み等の長期休暇は人手不足のなか職員配置に苦慮しながらも、皆の協力により不足なく配置することができた。また、職員研修については積極的に参加し、子どもに関する知識・技術の向上を図った。			
施設所管課の評価	外部研修に積極的に参加し、子どもに関する知識の向上を図り、得た知識をもとに子ども達に適切な指導を行っている。小学校をはじめ、関係機関との連絡を密に行っており、適切な連携体制がとれている。また、アプリを活用し保護者等との速やかな連携体制が整っている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	保護者の気持ちに寄り添い、丁寧な対応を心掛けた。利用者アンケートでは「満足」回答をたくさん頂くことができた。また、広報活動については、イベント等の開催案内をLINEやアプリを利用して積極的に周知した。		
	施設所管課の評価	LINEやアプリなどSNSを積極的に用いて、効率的な周知・広報活動ができています。利用者からのアンケートでは、職員・指導員の対応、全体的な満足度もかなり高く、良好な管理運営がされている。子ども達が毎月、大型トランポリンやバランスボールなどの遊具に触れ楽しむことで、体力増進につなげることができています。		
3	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	経費節減を心掛けながらも、児童にも意見をもらいながら、図書やアナログゲームを増やして遊びの幅を広げることができた。今後は人件費の増加が懸念される。		
	施設所管課の評価	エアコンの温度設定を適切に調整することなど、日常的に節約に留意し、収支予算書の範囲内で適切な予算の執行・運営がされている。		
4	目標項番①	目標項番①（年間来館者数）7000人は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（イベント数/参加者数）150回/3000人は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（体力増進活動数/参加者数）30回/600人は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	①年間来館者数は児童クラブ（通年）の登録人数が減ったものの一般来館者が多かったためクリアできてよかった。②イベント数・参加者数は共に目標がクリアできた。③体力増進活動数・参加者数も達成できた。		
	施設所管課の評価	①効果的な広報により、増加率が前年比約17%と成果を上げている。 ②子どもが楽しめるよう、多彩なイベントを企画することで、目標が達成されている。 ③子どもの基礎体力づくりの企画を行い、体力増進に貢献している。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)		
		令和6年度は令和5年度と比べると一般来館者数が1500名ほど増加した。子育て世代についても、また小学生の子どもたちにとっても児童館が居場所となってきた様子が見えてきた。		
		(施設所管課の評価)		
		高学年を中心に意見を出し合う子ども会議を開催し、施設内での過ごし方やルールづくりを行うなど、子どもの主体性を尊重した取り組みができています。SNSを積極的に利用し、イベントなどの周知活動や保護者との連絡体制も迅速に行える体制を整えている。ボランティアや地域の方々の協力を得ながらイベントを開催し、地域の連携やつながりを深めることができています。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	草平児童館	指定管理者名	社会福祉法人西川端保育園
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的な訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	適切な業務管理（市所管課並びに運営法人本部への必要な報告、連携、協議、職員間の有機的連携及び利用児童・生徒・その保護者等の協力を得て）より円滑な事業運営が出来た。			
施設所管課の評価	市子育て支援課、保護者、小学校などの関係者間での連絡調整、連携が適切に行えている。また、本部や法人の所管施設間での調整も緊密かつ円滑であり、効率的な施設運営ができています。職員間の情報共有については、連絡事項を記入する「連携ノート」を用いて、確実に実施している。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
		広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
		苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	環境の維持を目的に日常的に施設全体について点検整備に努めた。危険性、緊急性があると判断したものについては迅速に市所管課へ連携した。また常に来館利用者の視点に立って活動計画を立案すると共に終了後、その振り返りを行い、有効円滑に事業展開し、来館利用者の満足度を高めた。		
施設所管課の評価	日頃より、施設設備に危険箇所がないか点検・確認が行われており、利用者の視点に立った施設管理ができています。児童クラブでは日替わりのイベントを行っており、児童が楽しめる工夫を凝らし、多くの利用者から支持されています。利用者アンケートでは、全体的な満足度も高く、良好な管理運営がされている。保護者からのアンケートにおいても、約8割の方から満足されており、適切な施設運営がされている。				
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	日常的に支出状況を確認しながら方向性をもって運営し、適切な予算執行が出来た。加えて可能な限り節約に留意しつつ有効に管理運営を行うことを目指した。		
		施設所管課の評価	日常的に節約に留意し、予算の範囲内で適切な予算の執行・運営がされている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（児童クラブ登録数：90人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（年間来館利用者数：15,000人）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（利用者の満足度：度数8割以上）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	児童クラブの登録児童数は目標人数を上回っている。利用者の満足度は児童、保護者共に高く目標は、概ね達成されている。		
		施設所管課の評価	①年度途中からの児童クラブの受け入れにも協力し、保護者が安心して働くことができるよう貢献している。 ②年間来館者数は、児童クラブ利用者が減少する一方で、小中学生の一般利用者を増せたことで、昨年度から変わらず横ばいとなり、目標が達成できている。 ③利用者の満足度は、アンケート結果で子どもが楽しそうに通っているなどの理由により、目標が達成できている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		法人本部、同グループ内の西川端児童館と人的、物的に巨つて有機的連携を日常的に取り、高学年児童を主体（リーダー）として全学年児童の自主的活動能力の育成、自然への働きかけを行いながら進めたサークル活動、（専用グラウンドの配置が無いという）限定環境下での体力作り等をも含めて日々、積極的な活動を展開することが出来た。			
		(施設所管課の評価)			
		法人本部や西川端児童館との人的・物的調整を行うことで、効率的な施設運営ができています。季節に応じた多彩なイベントが毎日開催されており、利用者を楽しませる工夫がみられる。また、高学年を中心に子どもたちの意見をイベントや各種サークル活動に取り入れ、子どもが主体となった取組が行われている。			

書式3（総括評価票）

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	佐屋西児童館	指定管理者名	社会福祉法人美和多福社会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	法令規則等を遵守し、適切な人員配置に心がけた。とくに、安心・安全な児童館にするために、職員研修を充実させるとともに、共通理解を深めるために報告、連絡、相談を重要と考え、打ち合わせの時間や引き継ぎメモの充実を図った。			
施設所管課の評価	必要な資格、経験等を有する職員が確保されており、適切な人員体制のもと運営ができています。外部研修の内容や職員間の連絡事項については、職員会議や連絡ノートなどを用いて確実に情報共有が行われている。管理日誌には、毎日の遊具・施設の点検結果が適切に記録されており、安全管理が徹底されている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
		広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
		苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	節電や節水などの省エネや環境美化に配慮しつつ、利用者にとって使いやすく親しみやすく、安心・安全な児童館運営に心がけた。利用者の対応では信頼される児童館となるよう、相手の立場に立って行動するように一人ひとりの職員が努力した。その結果として、利用者アンケートの満足度が高かった。		
		施設所管課の評価	節電や節水など利用者呼びかけるとともに、職員が協力し合うことで、省エネや環境美化に取り組んでいる。利用者の視点に立った施設運営を心掛けた結果、保護者等からの全体的な満足度も高く、良好な管理運営がされている。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	児童館の適切な運営と質の向上のために努力を続けてきた。修繕など、必要な場面や状況には計画的に、時には迅速、適切に執行しつつ、削減すべきところでは節約するなど全体のバランスを重視した収支に心がけた。		
施設所管課の評価	コスト削減に努め、適切な予算の執行・運営がされている。日常点検の結果をもとに早期に自発的に修繕を行っている。				
4	目標管理	目標項番①	(年間来館者数、13,000人)は達成されたか	C	C
		目標項番②	(児童対象イベント数/参加者数、50回/1,500人)は達成されたか	C	C
		目標項番③	(年間親子来館者数、330組)は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	児童・親子が気軽に利用できる楽しい施設を目標にして取り組んできたが、その目標はほぼ達成できた。また、安心、安全な施設に向けて1年間大きな事故もなく運営できたことは大いに評価したい。		
		施設所管課の評価	①年間来館者数は、誰でも気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けた結果、昨年度より増加している。 ②イベント数/イベント参加者数は、目標が達成できている。 ③親子対象のイベントを新たに企画するとともに、遊びを通して子育ての不安や悩みを相談できる場を提供した結果、目標が達成できている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	本年度はコロナやインフルエンザなどの大きな流行は見られなかったが、今後も集団感染防止に対する配慮と対策に注意したい。今後の課題として、児童クラブの利用者の増加への対応、施設の年代経過に伴う老朽化対策などがある。		
		(施設所管課の評価)	手指消毒等を徹底することで、施設での集団感染防止に取り組んでいる。 母親クラブや中学生ボランティアなどの地域の方々の協力を得ながら多彩なイベントを開催し、地域との連携や多世代交流を深めることができている。 優先順位をつけながら、市で老朽化対策を行い、環境整備を図る。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	市江児童館	指定管理者名	社会福祉法人市江福祉会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的な訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	年間を通して、事業計画書に即し適切に人員を配置することができた。また、市から依頼される報告・提出書類についても計画的に作成し提出し児童館でも適切に保管することができた。児童館内で実施するイベント等については、児童館だよりだけでなくメール配信も活用し、保護者や小学校とも情報提供・共有を進めている。			
施設所管課の評価	事業計画書に即し、放課後児童支援員などの有資格者を適切に配置することができている。児童館で行うイベント等については、児童館だよりによる広報だけでなくメール配信を活用するなど多様な手段を用いて情報提供・共有を実施しており、効果的な集客につなげている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	B	

2 内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	館内の各施設については、児童が安全に利用できるよう職員が日常点検を実施し、その記録も保管している。また、保護者や地域の方も協力的で、毎年実施している保護者アンケートからも満足度の高い評価をしていただくことができた。		
施設所管課の評価	遊具や施設の点検を毎日行い、児童が安全に利用できる環境を心掛けており、施設点検を行った結果をもとに、雨漏りの補修やフェンスの塗装など積極的に修繕を行っている。 利用者アンケートでは、児童館へ行くことが楽しいという声や、全体的な満足度も利用者からかなり高く、良好な管理運営がされている。			
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	予算の執行や経理事務等、適正に処理することができた。		
施設所管課の評価	日常的に節約に留意し、適切な予算の執行・運営がされている。			
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数：9500人）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（イベント数・イベント参加者数：80/2000人）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（母親クラブ主催行事への参加者数：500人）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	年間を通して、地域の協力をいただき、計画的にイベントを計画することができた。そのため昨年度以上に参加人数が増加し、目標としていた年間来館者をはじめ各行事における目標人数を大幅に超えることができた。また、児童アンケートからも満足度のいく評価が得られている。		
	施設所管課の評価	①年間来館者数は、昨年度より1割以上増加し、目標が達成できている。 ②イベント参加者数は、昨年度より2割以上増加し、目標が達成できている。 ③ボランティアの協力を得ながら児童が楽しめる工夫ができており、目標が達成できている。		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6 特記事項	(指定管理者の自己評価)	参加した児童が安心・安全に過ごすことのできる場所となるよう細部にわたって確認・点検を実施するとともに、個々の児童に対応するための情報を職員全体で共有することができた。また、今年も野菜作りや収穫体験を通して勤労や食育指導につなげることができた。今年度も毎日の迎えを通して、安全に来館できるよう指導するとともに、参加児童の人員確認を確実にすることができた。		
	(施設所管課の評価)	地域の方々との連携による新たな企画を開催するとともに、母親クラブなどのボランティアからの協力を得ながら、地域の連携や多世代交流を深めている。 ジャガイモやいちごなど季節の野菜を育て、収穫も児童が行い、食育に力を入れた運営がされている。 小学校と児童館との距離があるため、職員自ら児童を出迎えに行き、児童館に残った職員と無線で連携を図るなど、児童の安全を確保する取組を行っている。		

書式3（総括評価票）

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	永和児童館	指定管理者名	れんこん村・技研共同体
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	B	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的な訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
	財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	法令等に基づき施設点検を行い、個人情報の漏洩防止などについても対策を講じて運営した。放課後支援員キャリアアップ研修にも積極的に参加、共有することで全員のスキルアップに努めた。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員などの有資格者を多く配置し、適切な人員体制のもと運営ができています。外部研修に積極的に参加し、研修内容を職員会議等で情報共有することで、職員全体の資質向上につなげている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
		広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
		苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	協定書、仕様書等に基づき、適切に運営した。 中高生世代が利用しやすい環境を整えるため、毎週月曜日に19時まで開館する中高生タイムを行った。中高生タイムが定着したことで、中高生世代の利用促進に繋がった。		
		施設所管課の評価	独自で行っている中高生タイムについては、年間を通して中学校の部活がない月曜日に、開館時間を一部延長し開催しており、中高生世代の居場所づくりの支援体制ができています。また、子ども会議を開催し、イベント内容や施設でのルール等を子ども同士で話し合うなど、子どもの自主性を尊重した取り組みがみられる。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	経費節減に努め、適切に執行した。 子どもも分かりやすいよう貼り紙をし、照明及び冷房の適正管理、水の無駄遣いがないよう努めた。		
		施設所管課の評価	日常的に節約に留意し、適切な予算の執行・運営がされている。 特に光熱水費など、無駄な経費削減のため、節水や節電に係る掲示などを実施し、利用者全体で協力しながら取り組むことができています。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（第一子妊娠中の方の来館者数：3人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（一般来館者による子ども企画：5本）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（地域と関わりをもつ新規取り組み：5本）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	妊娠期も来館してもらえよう子育て講座の広報を産婦人科へも行うなど呼びかけたが目標には届かなかった。切れ目のない支援ができるよう今後も広報を継続する。子ども企画は立案、実行されるものの、一般来館児が関わるものは2本に留まった。一般来館児がやりたいことを具現化できるよう、来館機会が少ない児童への働きかけとして小学校への広報もしていく。避難訓練で永和保育園と連携したが、他団体等との新たな取り組みを展開できなかった。まずは児童館活動を外部に発信することから地域との連携を図っていきたい。		
施設所管課の評価	①目標には届かなかったが、産婦人科などの関係機関に広報し、妊娠期からの切れ目のない支援に向け、来館しやすい環境づくりを行っている。 ②目標には届かなかったが、児童クラブ利用者の意見だけでなく、一般来館者の意見も反映させる試みを行っており、子どもがチャレンジしやすい環境づくりに努めている。 ③目標には届かなかったが、永和保育園と連携した避難訓練を令和6年度から新たに実施しており、関係機関との連携強化を図っている。				
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	中高生タイムを通年開催することで定着し、中高生世代の居場所として活用された。また、保護者からも安心だとの声を頂いた。思春期に入り、悩みや不安が多岐にわたる子どもたちに寄り添い、安心できる居場所となれるよう今後も努める。 学校に行きたくないという児童の保護者から日中仕事で不在のため心配との相談を受け、児童館で1日過ごした。翌日は登校することができ、保護者も安心された。相談内容により臨機応変な対応及び関係機関と連携していく。		
		(施設所管課の評価)	子ども会議を開催し、子どもの主体性を尊重した取り組みやルールづくりを行う運営がなされ、遊びを通じて成長できる環境が整っている。 保護者からの相談に丁寧に対応し、気軽に育児相談などがしやすい環境を整えており、児童や保護者に居心地の良い場所を提供できている。 中高生タイムを開催していることもあり、中高生の居場所づくりの支援体制ができています。また、地域との交流や、関係機関と連携しながら効果的に事業展開がされている。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	西川端児童館	指定管理者名	社会福祉法人西川端保育園
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B	B
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	消防計画などの法令に基づき月1回以上の避難訓練や消防本部の立会いのもと総合避難訓練（通報・消火・避難）を年2回実施。さらに、未就学児の親子を対象とした避難訓練（火災・地震）も年に数回実施。緊急時の訓練がしっかり出来た。（福）西川端保育園の財政状況は10年以上自己資本比率が92%・93%を維持している。			
施設所管課の評価	月1回の避難訓練などとは別に、関係機関と連携した訓練や未就学児の親子を対象とした訓練も実施し、来館者に安心安全な施設運営が徹底されている。管理日誌等に業務に関する記録が詳細に記されており、管理記録が適切に整備されている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2 内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	常に利用者及び保護者の意見を聞きながら諸活動の計画・見直しを図っている。児童・保護者からも「児童館利用者アンケート」等を通じて高い評価を得ている。事業開催案内を一部の事業についてはパンフレット等を独自に作成しクラブ員全員に周知している。		
施設所管課の評価	児童クラブでは日替わりのイベントを行っていることに加え、子どもが主体となる子ども会議を開催し、施設内でのルールや活動内容に、子どもの意見を取り入れた運営がされている。その結果、保護者からのアンケートでは、イベントや企画が楽しいという声や、全体的な満足度も高く、良好な管理運営がされている。また、児童館だよりとは別にイベントチラシを作成し、周知を図ることで、効果的なイベント参加者の増加につなげている。			
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	委託している会計事務所と連携しながら、出納簿等の経理書類を適正に執行・管理している。また、会計事務所とは常に限られた予算の中で様々な事業展開を行い、予算収支状況や経営の協議を行い適正な予算執行が出来た。		
施設所管課の評価	経理事務は、会計事務所と協力し、適切に行われており、収支状況も、概ね予算どおり執行されている。節電等に心掛け、経費の節減に努めている。			
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数：12,000人）は達成されたか	B	C
	目標項番②	目標項番②（イベント数・参加者数：400回・10,500人）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（利用者の大きなケガ件数：0件）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	子ども達や保護者の要望を取り入れながら、日々の衛生対策に留意し多くの事業を実施することが出来た。年間来館者数も目標の12,000人の137.8%と大きく上回ることが出来た。また、一般利用者（小・中・高校生）も多く来館した。		
	施設所管課の評価	①年間来館者数は昨年度と比べて同等であり、目標設定値が低いため、Cが妥当である。 ②日替わりのイベントだけでなく、親子を対象にした事業も多く、イベント数・参加者数の目標が達成できている。 ③施設の日常点検や非常時の訓練など積極的に行い、子どもの安心安全な施設運営が徹底されている。		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6 特記事項	(指定管理者の自己評価)	R6年度も設定した目標を大きく上回ることが出来た。あらゆる感染症に対する予防対策も職員の危機管理意識のお陰でしっかり実施できた。更に児童クラブのOB、OGの中高生が多くのイベントに参加してくれた。保護者やクラブ員の要望に耳を傾け活動することが出来た。		
	(施設所管課の評価)	感染症に対する予防対策として、利用者及び職員の衛生管理を適切に行っている。中学校や特別支援学校など地域の団体と定期的に交流し、地域の資源をうまく活用しており、地域との触れ合いを深め、地域に根ざした児童館運営ができています。 利用者や保護者の要望に耳を傾け、季節に合わせた多種多様な事業を展開することで、魅力ある事業内容となっている。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	北河田児童館	指定管理者名	ホームメックス株式会社名古屋支店
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	B
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的な訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	児童館、児童クラブ職員の配置基準を守り運営を行った。指定管理者変更により新規職員が多くなったため、外部研修に参加する機会を積極的に設け、また、内部研修を行い意識の統一を図った。各種マニュアルの見直しを行い、利用者が見られる場所に掲示した。			
施設所管課の評価	指定管理者変更に伴い児童クラブでは、多くの職員が変更となったが、積極的な外部研修に加え、内部研修による職員間の意識の統一を図ることで、滞りなく事業を行うことができている。また、法人本部と連携をとり、効率的な施設運営ができている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
		広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
		苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	仕事の効率化を図るために必要な備品等を購入し、整理整頓を心掛けた。また、地域ボランティアの協力や中高生のイベントへの参加を呼びかけ、多世代交流を図った。乳幼児親子の児童館利用も好調で、アンケート結果も良好だった。ロッカーの棚板修理、網戸修理や劣化したカーテンの入れ替え等の修繕は優先順位を決め、滞りなく行った。		
		施設所管課の評価	児童館まつりでは、近隣の清林館高校や佐織中学校と連携し、乳幼児親子から小学生まで多世代交流の場としても多くの来館者で賑わっている。また、ゴルフや卓球などのイベントで地域のボランティアの協力を得ることにより、地域との連携も展開できており、サービス向上に寄与している。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	経費の使途については常に節約を心がけながら、必要な物品については検討の上購入し、利用者が児童館内で有意義に過ごせるように心がけた。		
		施設所管課の評価	法人全体で委託契約を行うことで、経費節約を行うことができています。法人本部と調整を行い、計画的に必要な物品の購入や修繕を行うことができた。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数：10,500人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（イベントの参加者数：2,900人）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（親子教室登録者数：30組）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	①11,280人②3,166人③37組と、目標を上回るすることができた。また、数だけに捉われるのではなく、常に新しいことや利用者が望む事に目を向けるよう努力した。児童の発言には耳を傾け、主体的な活動の機会を増やした。		
		施設所管課の評価	①年間来館者数は、多彩なイベントを企画し実施した結果、目標が達成できている。 ②イベント数/イベント参加者数は、目標が達成できている。 ③親子教室登録者数は、保護者が気軽に相談できる環境を整えた結果、目標が達成できている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	指定管理者の変更に伴い、事務面では戸惑うことも多い1年だった。また職員配置に関しては、1年を通して放課後児童クラブの入れ替わりが激しく、配置基準は満たしているも児童と継続的に向き合うという観点では課題が残った。行事等に関しては、大幅な縮小等もなく前年通りの「安心できる」児童館を提供できた。		
		(施設所管課の評価)	令和6年度から指定管理者が変更し、職員の入れ替わりがある中で、計画的に研修等を行い、スキルアップを図った上で、業務を行っている。子どもたちで出し合った意見を活かした活動や長期休暇期間中の児童クラブでは、マイチャレンジを毎日行うなど、子どもの自主的活動を尊重し、創造性、想像性、社会性を育む展開ができています。グラウンドゴルフや卓球などは、高齢者やボランティアなど地域との交流を積極的に行い、地域に開かれた児童館づくりを心掛けている。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	立田北部子育て支援センター	指定管理者名	社会福祉法人美和多福祉会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	法定、規則等を厳守し適切な人員配置に心がけ、安全なセンター運営に努力した。センター登録保護者には緊急時連絡体制を整えたり、定期的訓練では毎月の火災訓練に加え、起震車の体験や台風災害などを設定して小学校への避難経路をたれた場合のう回路などの避難を行ったり工夫を凝らした。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員などの有資格者を多く配置し、必要な資格の職員を適切に配置できている。毎月の訓練に加えて、起震車による地震体験や小学校と連携を図り、屋上に避難できる体制を整えるなど、児童の安全確保に努めている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
		広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
		苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	館内はもちろんセンター周辺の清掃消毒等に努め清潔感あるセンターを保った。またセンターたより等を通して利用者への情報提供をし活動の内容を工夫して、企画運営に努力した結果親子教室参加組数が年度後半には増加した。利用者アンケートでも職員のより向上心に繋げる評価も頂いた。		
施設所管課の評価	館内の衛生管理を適切に行い、環境美化に努めている。実施事業については、効果的な広報を行い、利用者からの意見を企画運営に反映したことで、アンケート調査では、全体的な満足度が高く、良好な管理運営がされている。				
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	経費節電のためにエネルギーの節電や資源の無駄使いに職員全員で年間を通じて務めながら、センターの適切な運営と資向上のため努力を続けた。収支状況も予算書範囲内で適切に処理できた。		
施設所管課の評価	予算の範囲内で執行されており、適切な予算管理ができています。電気をこまめに切るなど、経費の縮減に向けた取組みが適切に行われている。				
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数:7000人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（イベント数/参加数:20回/200人）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（親子教室登録組数：40組）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	①は児童クラブ登録数が減少傾向だったが、地域支援活動に力を入れて来館者数を増加傾向にできる様努力した。 ②は一般参加数は伸び悩み課題を残しているがおおむね達成できた。 ③年度後半より参加組数が増加して達成することが出来た。		
施設所管課の評価	①目標には届かなかったが、地域支援活動に力を入れるなど来館者数を増やす取り組みを行っている。 ②親子教室の登録者が定期的に利用できるイベントを開催することで、参加者数の増加につながっている。 ③イベントの開催日を平日中心にすることで、親子教室の登録者増につなげることができた。				
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	年間を通じて衛生管理や警備、安全に配慮と対策を行いながら気軽に来館できる場所づくりに努めた。また育児や児童の悩み、困りごとの雑談や相談に細やかな寄り添いが出来関係機関との繋がりも強めることが出来た。今後もより一層の資質向上に努めて行きたい。		
		(施設所管課の評価)	双子の家族を対象に独自事業として「ふたごっちクラブ」を開催しており、多胎児家庭特有の不安や悩みの解消に努めている。 保健センター等の関係機関と連携を強化するとともに、経験豊富な職員が悩みを抱える親子や児童に寄り添うことで、職員との信頼関係の構築ができています。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	立田南部子育て支援センター	指定管理者名	社会福祉法人美和多福社会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的な訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	法令・規則を遵守し、十分な人員を配置して、適正かつ順調な施設の管理運営に努めた。職員打ち合わせに力を注ぎ、集団指導の方法や個別児童の効果的な指導の在り方を共有するなど、職員の指導力向上に努めた。小学校及び児童の保護者との連携を強化し、事業を円滑に実施することができた。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員などの有資格者を多く配置し、適切な人員体制のもと運営ができています。職員同士の情報共有が徹底されており、職員間で児童への対応に差が出ないような体制ができています。また、小学校との連携を密にし、児童の保護者の相談に適宜応じる体制ができています。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
		広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
		苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	子ども詩吟、絵画教室、体育教室、スポーツ交流会など事業内容の充実を図った。子どもの心身の健康状況の把握に努めるとともに児童の交友関係の変化やいじめ等の有無に注意を払っている。利用者からの相談に親身になって対応し、解決のために尽力した。中高生の居場所作り事業（小中高生のスポーツ交流会）も一定の成果をあげた。		
施設所管課の評価	小学生、中学生、高校生を対象とするスポーツ交流会を開催し、中高生の居場所づくりだけでなく、異世代間の交流や子どもたちの体力増進にもつなげ、サービス向上に寄与した。利用者からの相談対応や充実した事業展開の結果、保護者からのアンケートでは、全体的な満足度が90%を超え、良好な施設運営ができています。				
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	インターネットバンキングを利用し、業務の効率化、経費の縮減に努めた。予算の範囲内で人の配置を充実させ、事業数・事業内容の充実にも努めた。なお、屋根の修繕を市で実施していただいたことは有り難かった。今後、砂場や大型遊具の修繕が必要になることが課題である。		
施設所管課の評価	各業務の効率化を行い、経費の縮減に努めている。予算が計画的に執行されており、適切な運営ができています。				
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数：11,000人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（イベント数12回/イベント参加者数300人）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（子育て支援事業開催数：100回）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	事業規模、内容を工夫し、児童・親子が気軽に利用できる楽しい施設を目標にして取り組み、その目標は達成できた。各種活動を通して、子どもたちの自主性、社会性を育むことができた。利用者との信頼関係が生まれ、相談活動も機能した。		
施設所管課の評価	①年間来館者数は、前年度と比べ17%増加し、目標が達成できている。 ②イベント数/イベント参加者数は、気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けた結果、目標が達成できている。 ③参加者の規模や年齢等に応じてイベント内容を工夫し、参加しやすい取組みを行っており、目標が達成できている。				
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	施設の経年劣化による補修、改修など経費を伴う大きな課題がある。施設利用者のニーズに応えた施設運営を図った。スタッフのキャリアを活かして、相談活動、中高生の居場所作り事業を実施した。小中高生スポーツ交流会を今後さらに充実させたいと思っている。		
		(施設所管課の評価)	津島高校野球部を招いた事業として、ティーボール教室を開催し、多世代交流を図っている。また、参加児童は、立田地区の子どもだけでなく、八開地区の子どもも参加し、他地区との交流も幅広く行っている。また、職員と児童及び保護者との信頼関係構築に努め、学校等の関係機関と連携することで、児童の健全育成に寄与している。令和6年度に市で屋根等の修繕工事を行い、環境整備を図った。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	開治子育て支援センター	指定管理者名	社会福祉法人八開福祉会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	—	—	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	ほぼ全員の職員が、有資格であり長期に継続勤務をしているため、経験が豊富である。児童クラブの職員配置は、適切に配置し、児童の安全に配慮している。業務に関する日誌、事業実績など丁寧に記録しているため、次年度への計画に活用している。			
施設所管課の評価	事業計画に即し、放課後児童支援員などの有資格者や経験豊富な人員のもと適切な運営ができています。業務日誌に毎日気づいた点など詳細を記録しており、過去を振り返りつつ次年度への事業計画に活かすことで、サービス向上を図っている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
		広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
		苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	B
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	年度末での利用者アンケート調査では、児童へ「センターは楽しいですか」の問いに「とても楽しい・楽しい」と87.5%が回答し、保護者へ「全体的な満足度について」の問いに「大いに満足・満足」に100%の回答が得られた。事業運営では、センター開所時から学区在住の助産師さんが、ベビーマッサージを月2回、実施し大変好評である。小学生の行事では、将棋連盟の講師が指導し、パソコン教室ではプロの講師が、毎月指導を行っている。行事内容は、HPでお知らせし、機関紙を小学校に毎月配布し、保育園・支所・診療所に掲示している。		
施設所管課の評価	前年度に引き続き、利用者アンケートでは、子育て支援センターへ行くことが楽しいという声や、全体的な満足度も利用者からかなり高く、良好な管理運営がされている。ベビーマッサージや将棋教室などの好評な事業を継続して実施するとともに、令和6年度から新たに英語教室を始めるなど、創意工夫のもとに事業運営されている。				
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	様々な物品の価格高騰・最低賃金のここ数年の大幅な上昇等があり、支出が大きくなりつつある中、様々な点において経費縮減を目指しつつ努力してきた。ただし、人件費については、削減＝モチベーションの低下・職員の疲弊→離職を防ぐために削減しないようにしている。		
施設所管課の評価	物価高騰や人件費が上昇する中、電気事業者を変更するなど、経費削減の取組を進めている。また、事業に支障のない範囲で、利用者に理解を得ながら節約に留意している。				
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来所者数：4500人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（行事開催数：200回）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（あおぞらクラブ登録者数：50人）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	前年度と比較すると年間来所者数が増加した。これは一般小学生・児童クラブ利用者が増加したことによる。乳幼児については、前年度とほぼ同数であったが、子どもを二人連れての参加多かったため大人の人数が減った。事業参加人数の増加は、小学生対象のセンター行事の参加者による。学区での誕生児が数名という現状があり、あおぞらクラブ登録者数は50人には達しなかった。今後も行事等を開催して、他地域からの来所者に期待したい。		
施設所管課の評価	①子どもの年齢に応じたイベントを企画し、利用者増に繋げることができている。 ②行事開催数は、令和6年度から利用者の少ない土曜日にも行事を開催し、多彩な企画を実施するなど工夫を凝らした結果、目標が達成できている。 ③目標には届かなかったが、親子が楽しく交流できる行事を開催し、学校区外の方へもHPなどで周知を行っており、登録者数の増加を図っている。				
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項		(指定管理者の自己評価)		
			放課後児童クラブでは、集団生活のなかではあるが、児童が遊びなどを自己選択しそして自己決定したうえで過ごしている。子育て支援事業においては、臨床心理士を配置し子育てにまつわる様々な話を聞きながら子育ての不安感や悩み丁寧に丁寧に対応した。また相談体制を充実させることで他機関との連携がスムーズに行われた。行事の内容も保護者が参加したくなるような内容を考えて開催した。		
			(施設所管課の評価)		
		室内遊びや室外遊びのメニューを増やし、児童が自由遊びを自分で決められるように、職員が見守りのなか、児童の自主性を尊重した取り組みができている。臨床心理士による月2回の相談会にて、保護者の子育てや子どもの発達に関する不安や悩みを気軽に相談できる場の提供している。			

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	八輪子育て支援センター	指定管理者名	社会福祉法人白百合福祉会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日〔5年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的な訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	法令、規則を遵守し、適切に事業を運営した。また、職員の外部研修なども積極的に参加し、得た情報を内部共有することで、職員の意識向上と共に、安心・安全な施設運営に努めることが出来た。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員などの必要な資格者が確保されており、適切な人員体制のもと運営ができています。また、積極的に外部研修に参加するとともに、研修内容を職員間で共有することで、適切な施設運営を行うことができています。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	児童クラブでは、子ども会議を開き、子どもが主体的に活動に参加出来るような自主活動の日を設けた。また普段の生活の中でも、子どもの意見を聞き、受け入れながら進めていくことが出来た。子育て支援でも、利用者の声を聞きながら、子どもの成長を促すことが出来るようなイベントを企画、運営することが出来た。		
施設所管課の評価	児童クラブでは、高学年が中心となり、子どもたちの意見を反映した活動の日を設けており、子どもが主体となった取組が行われている。保護者からのアンケートでは、イベントや企画が楽しいという声があり、全体的な満足度が高く、良好な管理運営がされている。特に親子教室向けのイベントが充実しており、来館者も多く人気がある。			
3	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	前年度に引き続き、廃材を使った工作やおもちゃ作りを工夫し、経費削減に努めた。また子ども達にも、物を大切に使うこと、節水することなどを声掛けや張り紙で周知することが出来た。網戸の張替えを職員で行い、修繕費用の削減に努めた。		
施設所管課の評価	牛乳パックや空き箱を使った工作イベントを開催することで経費の節約に努めている。利用者の協力を得ながら、光熱水費を削減するとともに、施設の修繕についても、可能な限り職員で対応しており、経費縮減に向けた取り組みが行われている。			
4	目標項番①	目標項番①（年間来館数：9000人）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（イベント参加人数：3500人）は達成されたか	B	B
	目標項番③	目標項番③（利用者の満足度：大いに満足・満足90%）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	項目①は9615人と達成することが出来た。項目③は88%と若干目標に届かなかったものの、項目②のイベント参加人数は5027人と大幅に目標を超えることが出来た。児童クラブ利用人数の増加に伴い、主に夏休み期間中のイベントを増加させ、子ども達が楽しく安全に過ごせるよう努めた結果である。		
	施設所管課の評価	①年間来館者数は、昨年度より増加し、目標が達成できている。 ②親子教室向けのイベントが充実しており、利用者の実情に応じたイベントを実施した結果、目標が達成できている。 ③目標には届かなかったが、遠方から参加を楽しみに来館する利用者やリピーターも多く、利用者の満足度は高い。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)		
		年間来館者も増加し、利用者の需要に応えられるような施設作りが出来た。また、子ども達の自主性を促すイベント運営や、声掛けを行うことが出来た。コストを削減しながらも、利用者の満足度を得られるような施設運営を継続していく。		
		(施設所管課の評価)		
		子どもの自主性を尊重する姿勢やその雰囲気づくりが、利用者のアンケートなどから感じられる。子どもから意見を聞き、やりたいことを実現させることで、利用者からの高い信頼を得ている。児童クラブでは、前年度に引き続き、夏休み期間において八輪小学校の図工室を活用することにより、受け入れ体制を強化し、保護者から高い評価を得ている。		

書式3 (総括評価票)

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部環境課 (内線：192)

施設名	愛西市総合斎苑	指定管理者名	あいさい市総合斎苑管理グループ
指定期間	令和3年 4月 1日～令和 8年 3月31日〔 5年 0ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B	B
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
	財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能状態である。	C	C
	《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C
	指定管理者の 自己評価	避難訓練時に消防に出勤いただいたところお褒めの言葉をいただいた。 AEDが必要な可能性がある急病人がいてAEDを持って駆けつけた。結果必要なかったが、改めてAEDが必要な時の見直しをした。		
	施設所管課の 評価	人員体制において、必要な資格、経験等を有する職員の確保がされており、過不足なく配置できている。 また、緊急時の連絡体制が確保されており、トラブルの際に迅速に対応ができた。 個人情報について、適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を評価し付与されているプライバシーマークの更新において指摘事項がなく、また、新たに個人情報保護士資格を取得し、その上位資格に当たる上級個人情報保護士資格をすでに取得しているため、職員の意識向上のための社内研修ができた。 業務日誌については、引き続き行っており、日常業務に対する課題についての改善事項等をわかりやすく記録し、様々な事案に関する改善事項等の情報共有を行うことができた。 避難訓練を定期的に行っていることや、AEDの必要性も理解しており、すぐに対応することができた。		

2 内容 ・ 水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—
苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	
	苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C	
利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
指定管理者の 自己評価	水道使用量の異変などにすぐに気が付き、最小限の水道量ですんだ。 利用者様が一番長く過ごされる待合室をより快適にすごしていただけるよう壁紙などのデザインを市とも協議し修繕した。			
施設所管課の 評価	圧密沈下や備品故障に対する事故防止・安全確保を日々自主的に行い、来苑者に迷惑がからないようにすぐに対応した。 苦情等については実績がなく、利用者対応において職員の接遇が適切であると評価できる。			
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の 自己評価	指定管理者としての口座・通帳等の管理や経理処理はこれまでと同様に適切に実施した。 収支状況については収支予算どおりに執行できた。		
	施設所管課の 評価	10年以上経過している建物のため修繕箇所が増えているが、計画を立てて修繕を行っており、適正に予算執行している。 利用者への節電等の呼びかけや、水道量のチェックにより経費縮減の努力がみられた。		

4 目標管理	目標項番①	目標項番①（火葬炉運転による事故発生件数）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（式場利用率向上改善案）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（ ）は達成されたか	—	—
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の 自己評価	<p>目標項番①は火葬炉運転による事故発生は0件であり、トラブルはあったものの、グループ本部や火葬炉メーカーとの連携により大事には至らなかった。</p> <p>目標項番②は式場の利用がわかりやすいパンフレットを作成した。各待合室等に設置し利用者様により知ってもらえるよう努めた。</p>		
施設所管課の 評価	<p>目標項番①は、機器の不具合はあったが、火葬炉運転が支障なく行える技術を持った人員を適切に配置しているため、火葬炉運転による事故発生はなかった。</p> <p>目標項番②は、パンフレットを作成したことにより式場利用に興味をもってもらうことができた。</p>			
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	<p>(指定管理者の自己評価) 今後もより良いサービス向上のため、職員間でのミーティングを増やし色々な提案ができるようにする。</p> <p>(施設所管課の評価) 年度協定・仕様書・事業計画書等に基づき適切に管理されているだけでなく、独自のマニュアルや研修で職員の意識と技術の向上を図っており、総合斎苑の管理運営を適切な状態で運営できている。</p>			

書式3 (総括評価票)

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課： 保険福祉部 高齢福祉課 (内線： 157)

施設名	佐屋老人福祉センター	指定管理者名	コニックス株式会社
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日 (5年 0ヶ月)		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。		C	C	
緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	年1回の「安全衛生研修」、「個人情報保護研修」、年2回の「消防、緊急対応訓練」を行い意識向上に努めた。人員体制に変更なく、安定的に運用する事ができた。			
施設所管課の評価	定期的な研修を行い意識向上に努め、人員体制に変更なく、安定的に運用する事ができていた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C	
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
	指定管理者の自己評価	A 浴の配管工事やB 浴のタイル補修など、長年の課題であった経年劣化による設備トラブルを順次修繕工事として対応する事ができた。利用者アンケートより、満足していただける結果を得られた。今後も利用者様から更なる評価をいただけるよう、質の向上を目指した施設運営を行っていきたい。			
	施設所管課の評価	<p>細かな修繕等を迅速に対応し、利用者からポジティブな意見をいただけるような施設運営を続けていた。</p> <p>所管評価【B】の項目について 【利用者対応】</p> <p>スタッフが利用者一人一人に話しかける姿が見られた。また佐屋苑包括との連携も密に行っており、利用者の状況やニーズの把握及び信頼関係の構築とより質の良いサービスの提供を心がけていることが見受けられた。</p>			
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	適切な施設維持・管理が出来るよう、必要に応じて修繕と対応を実施した。 光熱費、物価が上昇する中で、利用者様のご協力も得ながら節電、節約を行い経費の抑制に努めた。		
		施設所管課の評価	施設の効率的な運用のため、節電や節約に努めていた。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（利用者満足度 95%以上）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（指定管理者独自事業開催日数6 日/月 以上）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（健康相談開催（感染対策緩和後）毎日/営業日）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	従業員の態度・対応については高評価をいただけた。自主事業、健康相談についても、制限無く実施することで、より多くの方に利用していただくことが出来た。		
		施設所管課の評価	豊富な自主事業により多くのお客様に施設を利用いただける機会を設けていた。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>安心・安全に配慮しながら利用者様の心身の健康と保持及び増進に寄与することが出来た。自主事業、イベント等も制限が無く実施したことで、利用率と満足度の向上に貢献出来た。施設、設備の老朽化と経年劣化が進み対策に苦慮したが、運営が滞る事無く快適に利用していただけるよう、必要な対策を施すことが出来た。</p> <p>(施設所管課の評価)</p> <p>指定管理者として責任感を持って利用者様の心身の健康に寄与することが出来ていた。自主事業やイベントにより、施設の利用率と満足度が向上しているほか、施設や設備の老朽化等の課題に関して、迅速に対策を講じることで運営が滞ることなく快適に利用できる環境を提供しているなど、柔軟な運営がなされていたと思われる。引き続き利用者に快適な施設だと感じるよう、適切なサービスを提供し続けていきたい。</p>			

書式3 (総括評価票)

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：保険福祉部 高齢福祉課 (内線：157)

施設名	愛西市佐織総合福祉センター	指定管理者名	ホームックス株式会社名古屋支店
指定期間	令和2年 4月 1日～ 令和7年 3月 31日〔5年 0ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施 体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の 自己評価	人員体制：職務が円滑に遂行出来る体制に改善し、仕事の無駄を是正し、スタッフの意識改革を行った。 緊急対応：スタッフの緊急対応の訓練を充実させ、即時緊急対応が出来る意識を高めた。 財務状況：計画的に事業を推進し、無駄な経費を抑えるべく工夫をし、日々業務遂行を行っている。			
施設所管課の 評価	適切な救急対応の訓練や教育を通じ、スタッフのスキル向上を図るなど、スタッフへの指導に力を入れ、業務の効率化と対応の質の向上が実現されていた。 また、各種事業や保守に関しても、財務状況を考慮し、計画から実施まで工夫して取り組み、施設を常に適切な状態に保っていたと思われる。			
2 内容 ・ 水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	B
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。		B	C	
協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。		B	B	

	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	B	C
	指定管理者の 自己評価	<p>利用者の利便性と安全性を高めるため、季節や利用状況に応じた備品提供を行った。イベントについては、高齢者の健康維持や交流促進といった施設目的に即した企画を実施した。</p> <p>また、小規模修繕については早期対応を徹底し、安全面の確保に努めました。</p> <p>自己評価【B】の項目について</p> <p>【利用者対応】：ウォーターサーバーの設置や塩アメの提供を通じて熱中症予防に配慮し、快適な環境づくりに努めた。</p> <p>【事業運営】：地域性や季節感を取り入れたイベント（クリスマス・お正月行事など）を通じ、利用者から楽しく参加できる事業運営を行い、これまでにないイベント開催で、従来の枠にとらわれず多様なプログラムを展開。参加者から好評を得ることで、サービスの質の向上につながった。</p> <p>【維持管理】：あわせて市への報告を迅速かつ正確に行い、信頼性の高い維持管理を実現できた。また、備品管理においても利用者の安全と快適さを確保するために点検、記録を徹底した。</p> <p>【広報活動】：広報以外に、展示チラシやポスターを華やかにし、より一層魅力ある館内掲示を心掛けた。</p> <p>【利用者アンケート】：良いアイデアを具現化し、各種イベント（寄席、人形劇、カラオケ大会等）開催に繋げて一体感を演出した。</p>		
		施設所管課の 評価	<p>利用者のニーズを理解し、常に高品質なサービスを提供するために継続的な改善を行っている。</p> <p>所管評価【B】の項目について</p> <p>【利用者対応】：ウォーターサーバーの設置など、施設利用者の健康と快適な利用を重視した管理体制が整っており、利用者が快適に過ごせるよう、細やかな配慮が行き届いていた。</p> <p>【事業運営】：イベントの開催に関しても、毎月行われている定例イベントに加え、地域性や季節感を重視した独自の自主事業を展開している。これにより、利用者は多彩な選択肢を持ち、イベントを通してより楽しく施設を利用することができていた。</p> <p>【維持管理】：施設内の修繕に関しても迅速な対応を心掛けており、市への報告と対応が円滑に行われる体制が整っていた。</p> <p>【広報活動】：イベントや団体の事業において積極的な宣伝活動を行い、イベントを通して利用者が施設を満足に利用できるような工夫がされていた。</p>	
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費削減	経費が削減され、またはその削減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の 自己評価	<p>経費削減：電気料金高騰の折、電気料金削減の為岐阜電力からシナネンに電気会社を切替え実施。</p> <p>収支状況：館が老朽化しており至る所で修繕が必要で、出来る限り業者に依頼せずスタッフで直すような工夫をし、修繕の経費削減に寄与した。</p>		
	施設所管課の 評価	電気会社の切り替えは恒常的な節電対策によって、電気料金の削減に努めていた。また、施設内スタッフで修繕が可能な箇所を直したことにより、修繕の経費削減に寄与した。		
目標	目標項番①	目標項番①（福祉センター利用者増加）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（自主事業計画実施）は達成されたか	C	C

	目標項番③	目標項番③（管理経費削減）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の 自己評価	<p>① ロビーを活用した各種イベントが利用者増員に寄与した。<u>結果 105.7%</u></p> <p>② 年間 104 件の自主事業を実施し、利用者に変好好評を得た。<u>結果 100%達成</u></p> <p>③ 電力会社切替と高圧電線の取替工事で消費電力削減をめざし、風呂・歯科指導室の漏水修繕にて無駄な水使用量の削減に寄与した。<u>結果 100%達成</u></p>		
	施設所管課の 評価	いずれの目標においても設定した値に近い結果となっており、計画的かつ効率的に業務に取り組んでいたと思われる。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>利用者からは、昨年よりも館内がにぎやかになり、展示物がカラフルで明るくて楽しくなった。スタッフとのコミュニケーションも増え、毎月の催物が本当に楽しみになったとのご意見を頂戴しています。利用者からの施設への要望はその都度聞き、改善できる部分はすぐ対応する様に心掛けています。引き続き、より安全で楽しく利用して頂ける様に、スタッフ一同日々精進しております。</p> <p>(施設所管課の評価)</p> <p>多くの自主事業を展開し積極的に参加を促すほか、施設内に展示コーナーを設ける、飾りつけを行うなど、施設内のアクティビティ以外にも利用者を楽しませる工夫が見られた。</p> <p>今後の更なる利用者満足度の向上のため、引き続き施設の運営に努めていただきたいと思います。</p>		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課： 教育部 生涯学習スポーツ課 (内線 371)

施設名	愛西市スポーツ施設	指定管理者名	株式会社 技研サービス
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年0ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	B	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
	財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C
	《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	人員体制について、利用者の利便性向上のため、人員体制の増員などの取り組みを行った。個人情報保護については、独自の「指定管理施設個人情報保護マニュアル」を作成するとともに、抜き打ち監査などの対策を講じた。法令等について、業務がスムーズに実施されるよう事例集等を作成し対応した。 緊急対応について、市への報告が必要な案件について報告が遅くれた事案が発生した。		
	施設所管課の評価	人員配置について、施設運営のため、増員していただいていることは、大変評価する。 有資格者については、概ね期待通りの水準で配置がなされていた。 個人情報保護についても、自社マニュアル等での対策に加え、抜き打ち監査実施などの個人情報保護対策を行っていることは大変評価できる。 今後も利用者の利便性に配慮した施設運営に努めていただきたい。		

2 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	D	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	B
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		C	C	
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C	
利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	<p>気軽にスポーツを楽しめる機会づくりを広げられるよう、利用可能日の拡大を図るとともに、コロナ後初の身障者参加企画として（社福）愛西の里と協同でカローリング大会を実施するなど、多様なスポーツ教室を新設した。</p> <p>また、施設管理については、本社専門技術者による点検実施を実施した。利用者対応については、施設の開錠忘れの事案が発生した。</p> <p>利用者対応については、利用者が不信感を持つような職員対応が発生してしまった。コンプライアンス及びハラスメント対策については職員全員が受講、また違反や相談等の対策窓口を設置するなどの取り組みを行った。</p>			
施設所管課の評価	<p>月曜日が休日の場合は開館し、翌日を休館日とする（毎週月曜日休館）について、利用者の使用しやすい開館日の設定を行っていただいていることは、大変評価できる。</p> <p>自主事業の運営については、トレーニングルームの利用者促進に関する自主事業実施など、施設の収入状況を考慮した、事業の展開は大変評価できる。</p> <p>施設の維持管理については、専門的な技術者の視点を取り入れていることは評価できる。</p> <p>利用者対応については、市民と接する機会が多いことを再認識し、親しみのある利用者対応に努めていただきたい。</p>			
3 収 支 等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C

	指定管理者の自己評価	(収支状況) 予算執行は必ず本社決済、また、更なる経費削減に努めるなど、収支予算書の範囲内で適切に行っている。		
	施設所管課の評価	適正に管理され問題は見受けられない。物価高が続く中、経費削減に努めて頂きたい。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①は達成されたか 年間目標 600人(昨年比 約20.0%増)	D	C
	目標項番②	目標項番②は達成されたか 削減目標 約1,712千円(昨年比 約5.0%減)	B	B
	目標項番③	目標項番③は達成されたか 年間目標 約11,800人(昨年比 約10.0%増)	D	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・親水トレーニングの初回講習者数について、前年比約20%増、年間利用者約600人を目標とする。最終で前年比約2.8%増に留まった。 ・高圧電力施設(3体育館・2運動場)電力料金を約5%減目標とする節電対策を実施。最終で約2,208千円/約6.4%減。 ・親水フットサル場の更なる利用促進として約10%増、年間利用者約11,800人を目標とする。最終で前年比約4.5%増に留まった。 		
施設所管課の評価	<p>目標①について、トレーニングルームの利用については、目標到達に至らなかったが、利用者の増加傾向が見られる。引く続き、様々な情報伝達手段を用いてPRに努めて頂きたい。</p> <p>目標②について、高圧電気料金5%削減の削減目標に到達したことは、大変評価できる。今後も利用者の利便性を確保しながら、節電に努めるとともに、安価な新電力の情報収集に努めてください。</p> <p>目標③について、目標到達に至らなかったが、フットサルコートの利用者促進がなされていることは評価できる。今後は、利用者ニーズに配慮した自主事業の展開等にも努めてください。</p>			
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>愛西市スポーツ施設は体温計や消毒液、換気促進などの感染防止対策を継続しながら通常開館(場)している。</p> <p>コロナ禍収束により、コロナ以前の利用水準を目指しているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数 H30.年間比 全体で約18.0%減、トレーニング全体 約46.0%減 ・利用金額 H30.年間比 全体で約 2.1%減、トレーニング全体 約37.5%減 <p>現在でも利用人数・利用金額に多大な影響が続いているが、スポーツを通じた「健康増進事業」「地方創生、まちづくり」「共生社会の実現」を重点施策として推進していくことが、目指す地域スポーツのあり方であると考えている。</p> <p>(施設所管課の評価)</p> <p>協定書・事業計画書に基づき、概ね適切な管理運営が行われている。</p>		

書式3 (総括評価票)

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課： 教育 部 生涯学習スポーツ 課 (内線：361)

施設名	愛西市中央図書館・佐織図書館	指定管理者名	NPO 法人まちづくり津島
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日〔 5年 ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施 体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。		C	C	
緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画書、協定書等に基づき管理できた。			
施設所管課の評価	通常の日誌の他にカウンターの引継用の日誌の作成もされており、職員間の情報共有がなされていた。佐織図書館の整理休館日の活動については、中央図書館で行える作業を中心にされていたが、休館しているからこそできる蔵書整理や展示替え等作業も計画的に行う必要があった。それ以外については、事業計画に則り、適切に遂行した。			
2 内容 ・ 水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	B
備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。		C	C	
協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。		C	C	

	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	おはなし室・休憩コーナーの照明をLED照明に交換し利用環境の向上を図ると共に、消費電力の削減に努めた。		
	施設所管課の評価	職員で簡易な修繕を行うなど、館内の保守管理を適切に行っている。 歴史に関する講座や映画会などを定期的に行い、図書館になじみがない人の集客に努めていた。 移動図書館の巡回場所（立田体育館）を増やすことで、遠隔地のサービスを強化した。 それ以外については、事業計画に則り、適切に遂行した。		
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	B	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	駐車場入口植え込み伐採、2階開架北側壁紙剥き替え、児童書コーナー文庫棚耐震金具設置などの環境整備を図書館職員が行い、経費縮減につなげた。		
	施設所管課の評価	事業計画に則り、適正に管理がされている。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（貸出冊数 160,000 冊/R6 160,580 冊）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（入館者数 62,000 人/R6 66,296 人）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（読書奨励・文化講座数 27 回/R6 29 回）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	貸出冊数については概ね数値目標通りの結果となった。入館者数、読書奨励・文化講座数は、目標を上回る成果を出せた。		
	施設所管課の評価	様々な企画を行うことで、入館者数は増えている。 この入館者数が、貸出冊数に結びついていけばと思う。		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	(指定管理者の自己評価) 特になし (施設所管課の評価) 積極的に自主事業を行うことで、図書館利用の促進につながっている。 協定書、事業計画に基づき、適正な管理運営が行われている。			

書式3 (総括評価票)

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：教育部 生涯学習スポーツ課 (内線：362)

施設名	文化会館	指定管理者名	ホームックス株式会社
指定期間	令和 4年 4 月 1 日～令和 9年 3 月 31 日〔 5 年 0 ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	B	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C	
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	個人情報については、社内研修の実施により全員受講し徹底している。市、文化協会等密に連絡を取り合い情報共有に徹している。			
施設所管課の評価	個人情報の事故防止対策について、社内研修及び文化会館職員内の研修を行うことで、防止対策を徹底していることが確認できる。それ以外については、事業計画に則り、適切に遂行した。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	B	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	B	B
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	利用者数は年間10万人を大きく上回り、年々増加しています。無料コンテンツによる集客で来場者増に貢献し、今後は遊興性の高いコンテンツの充実で売上増を図ります。協定書に基づく適切な修繕やLED化の推進など、環境配慮の取組も引き続き実施してまいります。		
	施設所管課の評価	毎週月曜日を休館日としている中で、隔週で開館をすることは、集客を増加させており評価できる点である。また、修繕費を抑えるために職員で部品交換したり、粗大ごみの処分をしており、衛生管理等を適切に行っている。それ以外については、事業計画に則り、適切に遂行した。		
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	専用口座で適切に経理処理を行い、予算内での執行に努めました。電気代の想定超過がありましたが、全体としては適正に管理され、水準通りの運営ができたと評価しています。		
	施設所管課の評価	事業計画に則り、適正に管理がされている。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①(利用者数(106,000人/年))は達成されたか	A	A
	目標項番②	目標項番②(利用回数 3,900回/年)は達成されたか	B	B
	目標項番③	目標項番③(指定管理者事業回数 28回/年)は達成されたか	B	B
	《4 総括》	目標管理に関する評価	B	B
	指定管理者の自己評価	利用者数は105,277人から171,579人へと大きく増加し、利用回数も3,941回から4,074回へと伸びました。また、自主事業の実施回数も36回から44回へと増加し、会館の利用が飛躍的に伸びています。過去に実施していなかった新たな企画や、市民の関心を引く内容を工夫して告知することで、多くの方々にご来場いただけるようになりました。特に、3月最終日に実施した「愛西シネマ」には434人もの来場があり、今後もさらなる集客に努めてまいります。		
	施設所管課の評価	自己評価のとおり、新たな企画を立案・実施することで、利用者数や回数を大幅に増加した点は大いに評価できる。		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	(指定管理者の自己評価) 新たな企画や市民ニーズに即した事業展開により、利用者数が大幅に増加。今後も関係機関と連携しながら、地域に根ざした魅力ある事業の充実に努めてまいります。 (施設所管課の評価) 協定書、事業計画に基づき、適正な管理運営が行われている。 自主事業で、新たな企画を行うことで、利用者数や回数が増加しているため、継続していただき、利用者数や利用回数等の増加につなげてほしい。			

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	永和地区防災コミュニティセンター	指定管理者名	永和学区コミュニティ推進協議会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年0か月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画通りに行い業務遂行することができました。			
施設所管課の評価	事業計画にのっとり人員の配置等を行い、円滑に管理・運営を行うことができた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	利用者からの苦情もなく、施設管理も問題なしに行なわれた。		
施設所管課の評価	利用者の満足度も高く、利用者への対応や施設の維持管理を適切に行うことができた。			
3	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	予算の範囲内で、適正に会計処理が行なわれた。		
	施設所管課の評価	適切に予算を執行し、管理・運営をすることができた。		
4	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：20,000人）は達成されたか	C	D
	目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：1,494,000円）は達成されたか	C	B
	目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	目標設定を行い目標達成に努めた結果、目標達成する事が出来た。		
	施設所管課の評価	利用者数については、コロナ禍以前の水準に戻らず、目標を大きく下回っている。 また、利用料金収入については、目標を大幅に上回ることができた。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	（指定管理者の自己評価） 協定書管理基準に従い概ね管理運営が行なわれ、利用者からの苦情ももなくアンケート調査の評価も高かった。		
		（施設所管課の評価） 適切に管理・運営を行うことができた。 利用料金収入では目標を大幅に上回ることができ、また、アンケート調査でも利用者の満足度は高い。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	西保地区防災コミュニティセンター	指定管理者名	西保地区防災コミュニティセンター運営協議会
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日〔5年0か月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	しっかり出来ている			
施設所管課の評価	事業計画にのっとり人員の配置等を行い、円滑に管理・運営を行うことができた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	おおむね出来ている		
施設所管課の評価	利用者の満足度も高く、利用者への対応や施設の維持管理を適切に行うことができた。			
3	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	前年よりやや少なくなった		
	施設所管課の評価	適切に予算を執行し、管理・運営をすることができた。		
4	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：7,500人）は達成されたか	B	B
	目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：700,000円）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	おおむね達成出来ている		
	施設所管課の評価	利用者数については、目標を大きく上回ることができた。 また、利用料金収入についても、目標を達成することができた。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	（指定管理者の自己評価） 良く出来てました		
		（施設所管課の評価） 適切に管理・運営を行うことができた。 利用者数・利用料金収入も目標を達成することができ、また、アンケート調査でも利用者の満足度は高い。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	勝幡地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	勝幡地区コミュニティ推進協議会
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日〔5年0か月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	人員体制を整え委託契約に沿った運営ができています。			
施設所管課の評価	事業計画にのっとり人員の配置等を行い、円滑に管理・運営を行うことができた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	管理人を通して利便性を高めている		
施設所管課の評価	利用者の満足度も高く、利用者への対応や施設の維持管理を適切に行うことができた。			
3	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	予算執行状況を管理し、的確に運営している。		
	施設所管課の評価	適切に予算を執行し、管理・運営をすることができた。		
4	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：8,100人）は達成されたか	C	B
	目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：750,000円）は達成されたか	C	B
	目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	B
	指定管理者の自己評価	施設利用はそこそこされており、利用料金も予算を上回る額を確保することができた。		
	施設所管課の評価	利用者数・利用料金収入について、目標を大幅に上回ることができた。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	（指定管理者の自己評価） 概ね適正に運営している。		
		（施設所管課の評価） 適切に管理・運営を行うことができた。 利用者数・利用料金収入も目標を大幅に上回ることができ、また、アンケート調査でも利用者の満足度は高い。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	町方地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	町方地区コミュニティ推進協議会
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日〔5年0か月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	概ね、期待通りの水準で管理運営がなされている。			
施設所管課の評価	事業計画にのっとり人員の配置等を行い、円滑に管理・運営を行うことができた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	D	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	アンケート調査は行われていますが、会長への報告がされていない。		
施設所管課の評価	利用者の満足度も高く、利用者への対応や施設の維持管理を適切に行うことができた。			
3	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	概ね、期待通りの水準で管理運営がなされている。		
	施設所管課の評価	適切に予算を執行し、管理・運営をすることができた。		
4	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：4,000人）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：350,000円）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	概ね、期待通りの水準で管理運営がなされている。		
	施設所管課の評価	利用者数・利用料金収入について、目標を達成することができた。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	（指定管理者の自己評価） 概ね、期待通りの水準で管理運営がなされている。		
		（施設所管課の評価） 適切に管理・運営を行うことができた。 利用者数・利用料金収入も目標を達成することができ、また、アンケート調査でも利用者の満足度は高い。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	川渚地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	川渚地区コミュニティ推進協議会
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日〔5年0か月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	過不足なく遂行できたと思う			
施設所管課の評価	事業計画にのっとり人員の配置等を行い、円滑に管理・運営を行うことができた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	収入・利用者数減であるが、利用団体は増えて、広く活用されつつある。		
施設所管課の評価	利用者の満足度も高く、利用者への対応や施設の維持管理を適切に行うことができた。			
3	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	計画予算の近似値になっている。		
	施設所管課の評価	適切に予算を執行し、管理・運営をすることができた。		
4	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：3,200人）は達成されたか	C	B
	目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：350,000円）は達成されたか	B	B
	目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	B
	指定管理者の自己評価	イベントの集客が年々減少方向、それに対する対策が不十分であった。		
	施設所管課の評価	利用者数・利用料金収入について、目標を大幅に上回ることができた。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	（指定管理者の自己評価） 自然災害、災害の活用もなく、大過なく事業計画通り遂行できたことは良しとする。		
		（施設所管課の評価） 適切に管理・運営を行うことができた。 利用者数・利用料金収入も目標を大幅に上回ることができ、また、アンケート調査でも利用者の満足度は高い。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	草平地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	草平地区コミュニティ推進協議会
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日〔5年0か月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画どおり管理運営について業務を行うことができた。			
施設所管課の評価	事業計画にのっとり人員の配置等を行い、円滑に管理・運営を行うことができた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	内容・水準	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	C
	指定管理者の自己評価	計画どおり業務を遂行できた。			
施設所管課の評価	利用者の満足度も高く、利用者への対応や施設の維持管理を適切に行うことができた。				
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C	C
	指定管理者の自己評価	予算内で業務を遂行でき、経費を抑えることができた。			
	施設所管課の評価	適切に予算を執行し、管理・運営をすることができた。			
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：3,600人）は達成されたか	C	B
	目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：350,000円）は達成されたか	C	C	C
	目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C	C
	指定管理者の自己評価	利用者数・利用料金収入について、目標を達成することができた。			
	施設所管課の評価	利用者数・利用料金収入について、目標を達成することができた。特に利用者数は、目標を大幅に上回ることもできた。			
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	C
6	特記事項	（指定管理者の自己評価） 事業計画にのっとり管理運営ができ、利用者の満足度も高かった。			
		（施設所管課の評価） 適切に管理・運営を行うことができた。 利用者数・利用料金収入も目標を達成することができ、また、アンケート調査でも利用者の満足度は高い。			

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	藤浪地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	藤浪地区コミュニティ推進協議会
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日〔5年0か月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	施設管理に支障がないよう管理が行えた。			
施設所管課の評価	事業計画にのっとり人員の配置等を行い、円滑に管理・運営を行うことができた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C

2	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	利用者に不便の無いよう努めた。部屋の掃除、エアコンの消し忘れの無いよう点検している。		
施設所管課の評価	利用者の満足度も高く、利用者への対応や施設の維持管理を適切に行うことができた。			
3	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	会計と協力して間違いの無いよう協力している。		
	施設所管課の評価	適切に予算を執行し、管理・運営をすることができた。		
4	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：17,200人）は達成されたか	C	B
	目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：1,600,000円）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	目標が達成されるように努力している。		
	施設所管課の評価	利用者数・利用料金収入について、目標を達成することができた。特に利用者数は、目標を大幅に上回ることができた。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	（指定管理者の自己評価） 利用者の立場に立ち、適切な管理運営に努めた。		
		（施設所管課の評価） 適切に管理・運営を行うことができた。 利用者数・利用料金収入も目標を達成することができ、また、アンケート調査でも利用者の満足度は高い。		

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	市江地区コミュニティセンター	指定管理者名	市江小学校区コミュニティ推進協議会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年0か月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画書通りに体制を整え支障なく行うことができた。			
施設所管課の評価	事業計画にのっとり人員の配置等を行い、円滑に管理・運営を行うことができた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	

2	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	計画通りおおむね遂行できた。利用者アンケートの評価も良かった。		
施設所管課の評価	利用者の満足度も高く、利用者への対応や施設の維持管理を適切に行うことができた。			
3	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	経費縮減に努め、予算の範囲内で適正に会計処理が行えた。		
	施設所管課の評価	適切に予算を執行し、管理・運営をすることができた。		
4	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：12,000人）は達成されたか	C	D
	目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：756,000円）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	目標設定を行ったが、コロナ禍からの影響で減少した。		
	施設所管課の評価	利用者数については、コロナ禍以前の水準に戻らず、目標を大きく下回っている。 また、利用料金収入については、目標を下回るものの、概ね達成できていると考える。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	（指定管理者の自己評価） 協定書管理基準に従いおおむね遂行できたが、コロナ禍からの影響により利用者数・収入が減った。		
		（施設所管課の評価） 適切に管理・運営を行うことができた。 アンケート調査でも、清掃や管理人の接遇に関する感謝のコメントが多数あり、利用者にとって快適な環境を提供することができた。		

書式3 (総括評価票)

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：産業建設部 産業振興課 (内線：582)

施設名	立田地域交流拠点施設	指定管理者名	立田ふれあいの里運営連絡協議会
指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和7年3月31日 [2年 0ヶ月]		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。		C	C	
緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画書、協定書等に基づき、適切に事業を実施した。また、指定管理期間の満了に伴う引継ぎ等、市、関係団体等と必要な調整を行った。			
施設所管課の評価	事業実施体制に問題はなく、概ね適切な施設の管理運営がされていたと評価する。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	D
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	D
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	D	D
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。		C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	市が実施する工事の影響もあり、店舗が駐車場から全く見えなくなるなど、施設の運営は大変苦慮した。そういった状況においても、来場者が安心してお越しいただけるように努め、新鮮で安心、安全な商品を提供することが出来た。		
	施設所管課の評価	一部テナントにおいて、開館時間等が遵守されておらず、従業員の接客についても適切ではないとのご意見を複数頂戴している。また、市が着手している道の駅再整備工事の影響を考慮しても、販売促進事業（イベント）が未実施であったことは改善すべき事案であるため、相応の評価をさせていただいた。		
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	B	D
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	市が実施する工事の影響もあり、来場者数が減少し、売上が例年と比較して芳しくない状況であったが、経費の削減に努め、困難な事態を乗り切った。		
	施設所管課の評価	経費削減の内容が、イベントを実施するための費用や施設PRに要する経費であった。本来は、来場者を増やす努力をしていただき、売上の維持・向上を目的とした運営とすべきであった。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（レジ通過者数の維持）は達成されたか	C	D
	目標項番②	目標項番②（イベント実施回数の維持）は達成されたか	D	D
	目標項番③	目標項番③（会員数の維持）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	D
	指定管理者の自己評価	道の駅の工事が本格化し、生産者の商品搬入を始め、来場者の導線等が目まぐるしく変更となり、大変、厳しい状況における施設運営であったが、会員が知恵を出し合い、目標達成に向けて努力した。		
	施設所管課の評価	先に指摘したとおり、イベントが未実施であることは、改善すべき事案である。しかしながら、会員数は概ね維持されており、レジ通過者数の減少も、工事の影響があることを考慮すると、許容の範囲であると評価する。		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>道の駅の竣工時から、約20年にわたり、管理運営を行ってきた。地域貢献の精神のもと、「おいしい、楽しいいっぱい」を経験できる施設づくりを目標とし、会員が一致団結して育ててきたが、今年度をもって、指定管理者としての役割を終えることとなった。</p> <p>コロナ禍や今回の整備工事など、必ずしも順風満帆であったわけではないが、市を代表する観光拠点として成長してこれたことは、誇らしいことである。最終年の売上状況等、必ずしも満足のいくものではなかったが、精いっぱい運営した結果として、ご容赦いただきたい。</p> <p>(施設所管課の評価)</p> <p>道の駅を、市の最大の集客を誇る施設に育て、長年に亘って管理運営に携わってこれたことに、敬意を表す。今後は、立場は変わることになるが、引き続き、道の駅の発展のために、協力をお願いしたい。</p>			

書式3（総括評価票）

令和6年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：教育部 生涯学習スポーツ課（内線：364）

施設名	愛西市永和地区公民館	指定管理者名	愛西市シルバー人材センター
指定期間	令和 3年 4月 1日～ 令和 8年 3月31日〔 5年 0ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の 自己評価	概ね良好な管理運営をしている。			
施設所管課の 評価	必要な点検及び、避難訓練、連絡調整など適切に行われており、適切に管理できている。			
2 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。		C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	D	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	概ね良好。		
	施設所管課の評価	施設管理や利用者対応など適切に行っている。 利用者数は前年度に比べて増加しており、更なる施設利用の増加を期待する。		
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	概ね良好。		
	施設所管課の評価	需用費や役務費の削減に努め、収支予算書の範囲内で予算を執行しており、良好な収支状況であった。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（利用者数 13,000 人/年）は達成されたか	D	C
	目標項番②	目標項番②（利用回数 850 回/年）は達成されたか	D	C
	目標項番③	目標項番③（公民館講座 6 回/年）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	D	C
	指定管理者の自己評価	概ね良好だが、利用者数と利用回数は目標値に達しなかった。		
	施設所管課の評価	目標値には届かなかったが、利用者数・利用回数ともに昨年度と比べて増加していることを評価する。 また、公民館講座は目標どおり開設しており、利用状況の向上のための努力がみられる。		
5 総合評価	「1 実施体制」「2 内容・水準」「3 収支等」「4 目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	(指定管理者の自己評価) 概ね良好。 (施設所管課の評価) 全体として適切に施設の運営を行っており、物価高騰の中予算の範囲内で経理を行っていることや、施設利用の向上に努め利用者が増加したことを特に評価する。			